

# 江戸前期、石見国浜原村の景観復原の試み

東京都立産業技術高等専門学校 原田 洋一郎

1. はじめに一石見銀山料の「町」的集落と「口番所」
2. 江戸期の浜原村
3. 浜原村の検地帳
4. 江戸初期の「町」のかたちの復原
5. 江戸初期の「町」の住人の横顔

- ◆口番所・・・港や街道上の要地に設置。人や物の出入りの取締、「役銀」の徴収にあたったとされる  
※石見国絵図に記載あり  
時期により番所の数は増減があった

正保国絵図に記載された口番所

外輪口番所

島津屋口・鳥井口・土江口・仁万村舟表口・温泉津舟表口・今浦舟表口・江津口  
川上口・住郷口・谷戸口・久保口  
行恒口・忍原口・別符口・筑後口・酒谷口

中通口番所

温泉津口・小浜宮前口・小浜堀越口・西田口・矢瀧口・仁万口・大国口  
久利口・亀谷口・小林口・大森上口・大森下口・高津口・祖式口  
荻原口・浜原口

- ◆江戸期の浜原村

村高 230 石余（正保国絵図）

田高 126 石余 畑高 104 石余（元禄 10 年「石見銀山料村々覚」）

本家 31 軒 門屋 44 軒

☆明治初期の地引絵図によって、江戸時代の村の景観をある程度復原することが可能【第 2 図】

◆浜原村の検地帳

中村久左衛門家文書（江津市桜江町大貫）に含まれる 全9冊

- ①慶長 7(1602)年 8月21日 「石州邑智郡上澤郷内濱原村御検地帳」（5冊の内1番）
- ②慶長 7年 8月22日 「石州邑智郡上澤郷内濱原村御検地帳」（5冊の内2番）
- ③慶長 7年 8月23日 「石州邑智郡上澤郷内濱原村町屋敷御検地帳」（5冊の内3番）
- ④慶長 7年 8月21日 「石州邑智郡上澤郷内濱原村御検地帳」（後世の写し）
- ⑤慶長 7年 8月22日 「石州邑智郡上澤郷内濱原村御検地帳」（後世の写し）
- ⑥慶長 7年 8月23日 「石州邑智郡上澤郷内濱原村町屋敷御検地帳」（後世の写し）
- ⑦慶長 7年 寅8月吉日 「邑智郡内上佐波濱原村御検地帳」（寛文10年の写し）※
- ⑧慶長 7年 寅8月吉 「邑智郡内上佐波濱原村御検地帳」（寛文10年の写し）
- ⑨1798(寛政10)年 新田検地帳（「石見国邑智郡浜原村新田検地帳」）

☆検地帳に記載された字名から慶長期の村の様子を知ることができる〔第3図〕〔第1表〕

◆浄土寺の記録にみる浜原の住人

○はいふきや九郎右衛門

「九郎右衛門は銀山より浜原へ引越、はいふき両替など仕り候故、はいふきやと申候」

○大工与助はいはい

○かちや太郎左衛門

○魚屋三郎兵衛

○目代彦兵衛（千原彦兵衛）

「千原氏は本氏吉川、長門国より浜原へ懸落仕候、其名を隠、千原と申候」

◆吉岡家文書 子歳石見国銀山諸役請納書

（慶長5年11月）

「一、百枚定 佐波より銀山迄駄賃役年中分

坂根五郎兵衛・貝屋四郎左衛門其外組有

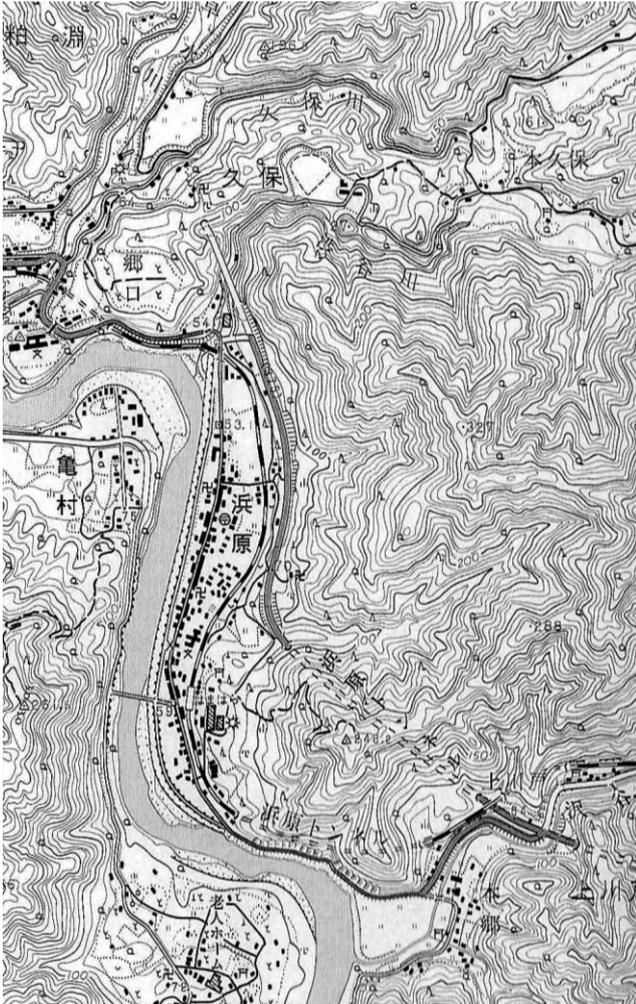
内五十八枚御調中候、残四十二枚未進」

☆貝屋元祖 西誉対夢居士

（妙用寺過去帳にあり）

字「小門」、「土居屋敷」といった、佐波氏に関わると思われる地区の土地を名請している

第1表 慶長検地帳に記載された字名



第1図 浜原集落

(国土地理院発行2万5千分の1地形図「石見小原」〔原寸〕を使用)

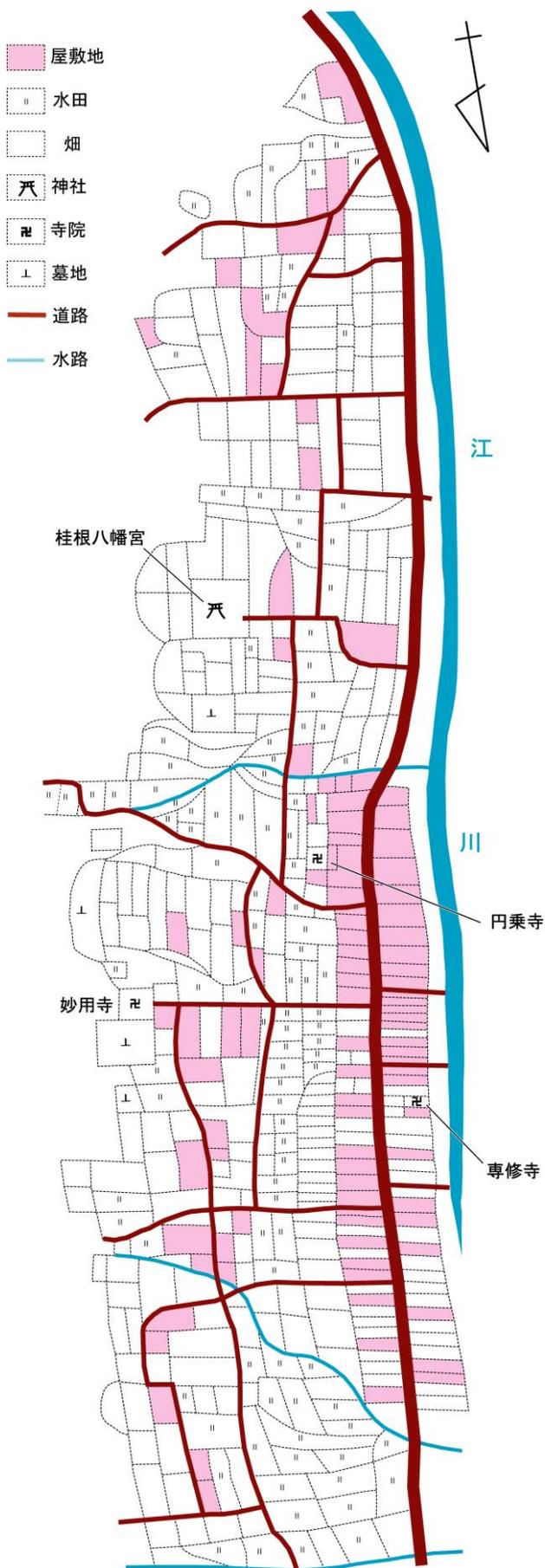
渡しやしき		[ ]さミ【( )そはさミ】
こかと	【小門】	すゝミとの
こかととひやしき		ほそ田
こかと		たうのまへ
さこた	【迫田】	[ ]ん 【たうてん】
なこた		いの木田
神田		大田内 【大たノ内】
はゝかしら		ふたくほ田
はゝの上	【馬場ノ上】	ねこ田
升くほ	【升窪】	ふた所田 【二所田】
馬入		大ミそへ
ほそ迫	【細迫】	大田内 【大田ノ内】
こしのはら【( )の原】		たてミそへ 【ミそへ】
家の上		寺田
地主原		ゑひす免 【ゑひすめん】
小丸上	【小丸ノ上】	榎下 【榎の下】
堤さこ	【堤迫】	こしまへ 【こし前】
宮の上	【宮ノ上】	[ ]け[ ] 【かけと】
かいせき		上かけ 【上かけと】
かと田口のきれ		すなこ
道の上よころ		ゑひす畠
よころ		柿本
とうこ代		かぢや畠
宮のまへ	【宮前】	うしろ地 【後地】
道の下	【道ノ下】	そり田
とうこ代		川そへ 【河そへ】
かやとう		神田
こしのまへ	【たうの前】	七とをり田 【七通田】
京との【( )ミとの】		四とをり田 【四通田】
報恩寺分		はんじやう田 【番匠田】
かぢや分	【かぢやしき】	な[ ]田 【なかれ田】
こなう免		[ ] 【いて料】
小林		河原
ほそ田		かわらの上
はしの下		ほそ田
道下		志ごはし 【ふたはし】
ほうさう田		いし原まへ 【石原のまへ】
道の上		こんはし 【たん原】
谷かわ	【谷河】	百まへ
はしの下		つち取は
谷川	【谷河】	道下 【道の下】
そり田		畠ヶ田 【はたけ田】
市のう[ ] 【市ノ後】		大畠ヶ前 【同所ノ前】
大畠まへ	【大はたけの前】	は[ ]前
清水上		[ ]の上 【大畠ノ上】
清水尻		大畠ヶ
市のうしろ	【市ノ後】	大畠ヶの上
なわてそへ		上の原
清水尻		さこ田
田むら田		清水尻
寺くほ	【升くほ】	中門前 【なか門前】
竹下	【竹の下】	こしまへ 【こし前】
ひら畠前	【平畠の前】	いきゝゝ田 【いきゝ田】
[ ]	【いしはたけ】	との田 【下のた】
藏のうしろ	【藏の後】	まへこはし 【前小林】
ほそ田		前こはし 【前小林】
す[ ]み[ ] 【すゝミ前】		小林

(慶長七年「石州邑智郡上澤郷内濱原村御検地帳」各冊により作成)

注1: 検地帳に記載された字名を、記載順に示した。重複する可能性があるものについても、そのままの順にしたがって示した。

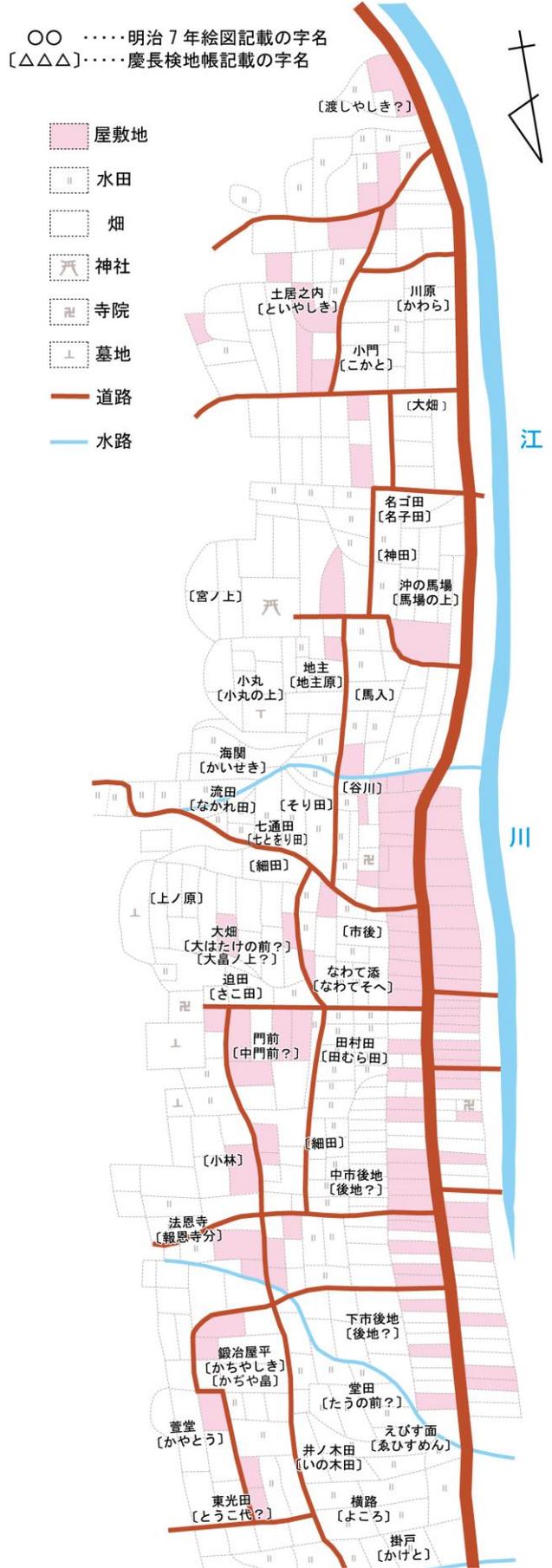
注2: [ ]内は虫損・破損などのために判読できなかった部分。

注3: 慶長期と異なる例においては、[ ]内に寛文期の表記を示した。



第2図 浜原集落の景観 (1874 : 明治7年)

(美郷町浜原二上家所蔵「邑智郡粕淵部濱原村全図」より作成)



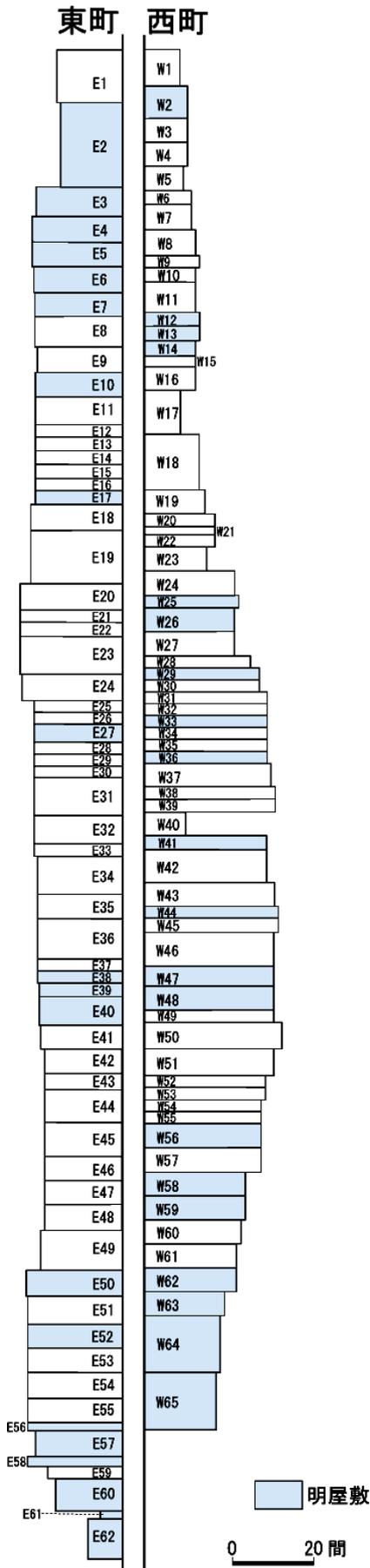
第3図 浜原集落における検地帳記載地名の分布

(慶長7年濱原村検地帳を資料として作成)

第2表 浜原町屋敷の名請人

No.	縦	横	名	備考	No.	縦	横	名	備考
E1	17	13	源次郎		W1	8	9	五郎左衛門	
E2	16	21	惣左衛門かかへ	明屋敷	W2	10	8	市左衛門	明屋敷
E3	22	7.5	助三〔郎〕	明屋敷	W3	10	6	了斎	寺屋敷
E4	23	6.5	新〔十郎〕	明屋敷	W4	10	6	[ ]	
E5	23	6	吉兵衛	明屋敷	W5	9	6	対夢かかへ	
E6	22.5	6.5	助兵衛	明屋敷	W6	11	3.5	弥六左衛門	
E7	22	6	五郎次郎	明屋敷	W7	11	6.5	与十郎・藤次郎	
E8	22	7.5	太郎左衛門		W8	12	6.5	新次郎	
E9	21.5	6.5	惣右衛門		W9	13	3	彦左衛門	
E10	22	6	三郎左衛門	明屋敷	W10	12	3.5	源四郎	
E11	22	7	五兵衛かかへ		W11	12	7.5	[ ] 門	
E12	22	3	助兵衛		W12	13	3.5	[与右] 衛門	明屋敷
E13	22	3.5	源次郎		W13	13	3.5	目代 彦兵衛	明屋敷
E14	22	3.5	彦三郎		W14	12	4	与三次郎	明屋敷
E15	22	3.5	新三郎		W15	12	2.5	又四郎	
E16	22	3	次郎五郎		W16	12	6	与左衛門	
E17	22	3.5	惣左衛門かかへ	明屋敷	W17	8.5	11	孫左衛門	
E18	23	6.5	惣左衛門		W18	13	14	目代 四郎左衛門	
E19	23	1.3	宗心		W19	14.5	6	新左衛門	
E20	25.5	6.5	惣兵衛		W20	17	3	[孫左衛門]	
E21	25.5	3	小次郎		W21	17	2	喜助	
E22	25.5	3.5	次郎右衛門		W22	17	3	孫左衛門	
E23	25.5	9.5	長 新左衛門		W23	15	6	太郎右衛門	
E24	25	6.5	弥三兵衛		W24	22	6	孫右衛門	
E25	22	3	吉兵衛かかへ		W25	23	3	吉兵衛	明屋敷
E26	22	3	吉右衛門		W26	22	6	四郎左衛門	明屋敷
E27	22	4.5	五兵衛かかへ	明屋敷	W27	22	6	対夢	
E28	22	3	五郎次郎かかへ		W28	26	3	[ ] 兵衛	
E29	22	3	弥兵衛		W29	28	3	太郎右衛門	明屋敷
E30	22	3	彦右衛門		W30	28	3	助四郎	
E31	22	9.5	目代様 五郎次郎		W31	30	3	弥三兵衛	
E32	22	7	惣兵衛		W32	30	3	惣右衛門	
E33	22	3	新次郎		W33	30	3	新三郎	明屋敷
E34	21	9.5	弥三兵衛		W34	30	3	孫四郎	
E35	21	6	孫兵衛		W35	30	3	又左衛門	
E36	21	10	又五郎		W36	30	3	源右衛門	明屋敷
E37	21	3	新四郎		W37	31	6	善五郎	
E38	21	3	新四郎	明屋敷	W38	32	3	弥十郎	
E39	20.5	3.5	新左衛門	明屋敷	W39	32	3	市助	
E40	20.5	6.5	四郎兵衛	明屋敷	W40	10	6	光澤寺	寺屋敷
E41	20	6	四郎兵衛		W41	30	3.5	助次郎	明屋敷
E42	19	6	善兵衛		W42	30	8	五郎次郎	
E43	19	4	了〔 〕かかへ		W43	32	6	弥左衛門	
E44	19	8	吉兵衛		W44	33	3	木や	明屋敷
E45	19	8.5	長 与一郎		W45	33	3.5	木や	
E46	19	6	与右衛門		W46	32	8	五兵衛	
E47	19	6	目代 彦兵衛		W47	32	5	五兵衛	明屋敷
E48	19	6.5	彦兵衛かかへ		W48	32	6	惣左衛門かかへ	明屋敷
E49	20	10	小三郎		W49	32	3	惣左衛門	
E50	23.5	6.5	四郎左衛門かかへ	明屋敷	W50	34	6.5	次郎右衛門	
E51	23	7	助三郎		W51	32	6.5	与介	
E52	23	6	市左衛門	明屋敷	W52	30	3	与左衛門	
E53	23	6	九郎左衛門		W53	30	3	市右衛門	
E54	23	6.5	四郎左衛門かかへ		W54	29	3	遍尔や 新三郎	
E55	23	6	甚三郎		W55	29	3	こうや 新三郎	
E56	23	2	与右衛門	明屋敷	W56	29	6	小次郎	明屋敷
E57	21	6.5	三郎右衛門	明屋敷	W57	29	6	五郎左衛門	
E58	23	2.5	弥三郎	明屋敷	W58	25	6	与助	明屋敷
E59	18	3	孫右衛門		W59	25	6	吉兵衛	明屋敷
E60	16	8	孫右衛門	明屋敷	W60	24	6	彦兵衛	
E61	5	2	四郎兵衛	明屋敷	W61	23	6	孫左衛門	
E62	8	10.	彦兵衛かかへ	明屋敷	W62	23	6	善兵衛	明屋敷
					W63	20	6	与介	明屋敷
					W64	19	14	宗兵衛	明屋敷
					W65	18	14	宗左衛門	明屋敷

(江津市桜江町大貫中村家文書 慶長7年「石州邑智郡上澤郷内濱原村町屋敷御御検地帳」より作成)



第4図 浜原の「町」模式図

(慶長7年濱原村屋敷検地帳より作成)

注：図中の番号は第2表に準ずる。

第3表 浜原村における分米高上位者（1602年）

名	分米高(合)	筆数	屋敷(在方)	町屋敷
対夢	37,580.9	72		2
五兵衛	13,305.5	12		4
甚四郎	12,388.7	17	1	
八幡ノ 四郎次郎	11,833.8	21	1	
妙用寺	8,851.3	5	1	
源左衛門	6,942.4	14	2	
孫右衛門	6,503.0	6		3
神主 与右衛門	6,413.5	12		3
市庭の 惣兵衛	5,779.0	3		3(※1)
太郎四郎	5,565.9	20	1	
与七郎	5,485.2	5	1	
報恩寺	5,348.5	20	1	
弥十郎	5,279.7	13	1	1
石田 孫次郎	4,762.9	17	2	
かさやノ 小三郎	4,448.8	9		1
肝煎 惣兵衛	4,038.0	4		3(※1)
かさやノ 惣右衛門	3,891.1	8		4(※2)
六左衛門	3,837.3	7		
助三郎	3,760.8	4	1	2
彦三郎	3,212.8	14	1	1

(中村家文書「慶長7年検地帳」一番、二番、三番、および寛文の写本により作成)

※1:「惣兵衛」の名で名請されている町屋敷は3カ所あるが、検地帳には、「市庭」「肝煎」「かさや」の肩書きのある者と肩書きのない者の計4名がある。

※2:「惣右衛門」の名で名請けされている町屋敷は4カ所あるが、検地帳には、「かさや」「おさ」の肩書きのある者2名がある。